

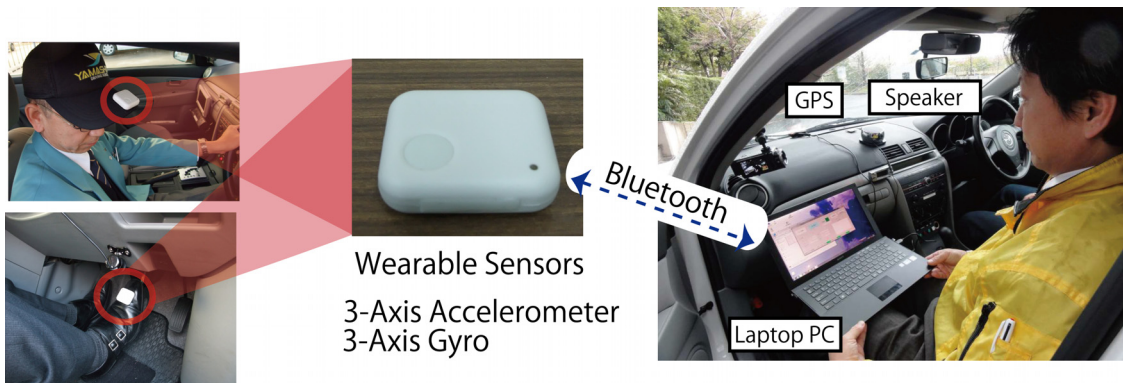
リアルタイム安全運転アドバイスシステム

● 背景と目的

道路の改良、車両の安全技術の進化により、交通事故件数は、減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあります。本研究では、ドライバーの運転行動計測・理解技術によって、潜在的に危険な運転や状況を早期に検知し、危険が顕在化する前に事故を未然に防ぐための安全アドバイスをリアルタイムで提供するシステムを開発しました。

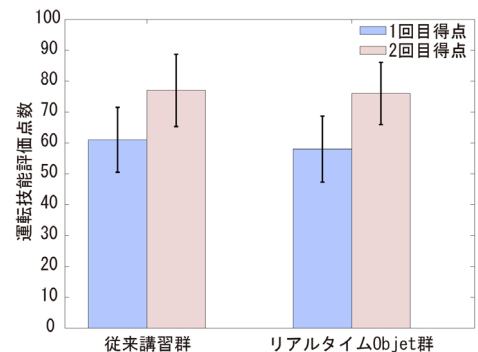
● 特長

- ・異常な挙動はもちろんのこと、すべき安全確認を「しなかった」ことも検出可能。
- ・システムによる運転評価は指導員による評価と9割以上の精度で一致します。
- ・危険な運転をすれば、即時に安全アドバイスを提供できます。



実験の結果、21歳～57歳までの日常的に運転している男女40名を2群に分け、一方には教習所の安全講習を受講させ、もう一方には本システムによる安全アドバイスを運転中に提供したところ、リアルタイムに安全アドバイスを提供することで、指導員による講習と同等の運転行動改善効果が得られることを確認しました。

	はい	いいえ
提供された情報に気づきましたか？	22人	0人
提供された音声が聞き取れましたか？	22人	0人
提供された情報内容が理解できましたか？	22人	0人
安全運転アドバイス情報のタイミングは適切でしたか？	15人	7人



● 今後の予定

自動車教習所の安全講習現場やトラック会社での実証実験を予定しています。